

『くもの糸』を読んで

弘前市立福村小学校

千葉晴 登

「みんなかわいそうだな。」

ぼくは『くもの糸』を読み終えて、そう思いました。なぜなら、おしゃか様は、かんだたを信じていたのにうら切られてしまい、かんだたも、天国へ行くチャンスを与えられたのに糸を切られ、地ごくへもどってしまったからです。とても残念な結末だと思います。

作者はなぜバッドエンドで終わらせたのでしょうか。ぼくが作者だったら、かんだたをごく楽にのぼらせてハッピーエンドにしたいです。その方がかんだたのくもに対する思いやりの心がむくわれてスッキリ終わって気持ちがいいです。

くもの糸が切れた原いんは、かんだたが後からのぼってくる人たちに、「おれの糸だぞ」と言つて追いはらったことです。ひどいことをするな、と思つたけれど、自分がかんだたの立場だったら、同じように天国へ行くチャンスを一人じめしたいと思うはずです。かんだたのように口で言うことはしないけれど、心では同じことを思つてしまいます。でもきつ

と、口に出さなくてもそう思っただけで、おしゃか様は糸を切ってしまうのではないのでしょうか。

人にはだれでも、よい心と悪い心があると思います。ごく悪人のかんだただつて、くもの命を救う心がありました。でも、本当のピンチになった時でも人を思いやって行動することはとてもむずかしいと思います。心では何が正しくて、何が悪いことなのか知っているけれど、それを行動にうつすことはなかなかできません。ぼくもそれで失ばいすることがよくあるのでかんだたの行動は理かいです。

また、おしゃか様はかんだたを信じたのに、かんだたの自分勝手な行動を見て、残念な気持ちになったと思います。もしかしたら、地ごくなんか見なければよかった、と後かいたかもしれません。地ごくにおちた罪人なんだからほうっておけばよかったのに、と思います。だけど、かんだたの心におくにあるよい心にひきつけられてしまったのでしようか。結きよく、かんだたはよい心を持ち続けることはできなかつ

たけれど、かんだたを信じたかったおしゃか様の気持ちはな
んだかわかる気がします。

こうやって、かんだたとおしゃか様の立場に立って考えて
みると、二人の行動になっとくできました。きっと作者は人

の心をよくわかっているからわざと悲しい結末にしたのだな
と思います。ハッピーエンドのお話ではなかったけれど、人
の心について考えさせられるとてもインパクトのあるお話で
した。